



※「あなたの人生が変わる奇跡の授業」 比田井和孝著 三笠書房

(※生徒数減等により予算減。部費確保のため必要な品は学校予算で購入。少人数部の活動を確保する。)

○今の義務教育の間は、人生の土台になる所だと思うし、その土台がしっかりしている人ほど将来の選択肢や視野が広がると思う。だから、今のうちから様々な知識をつけておきたい。(3年生)

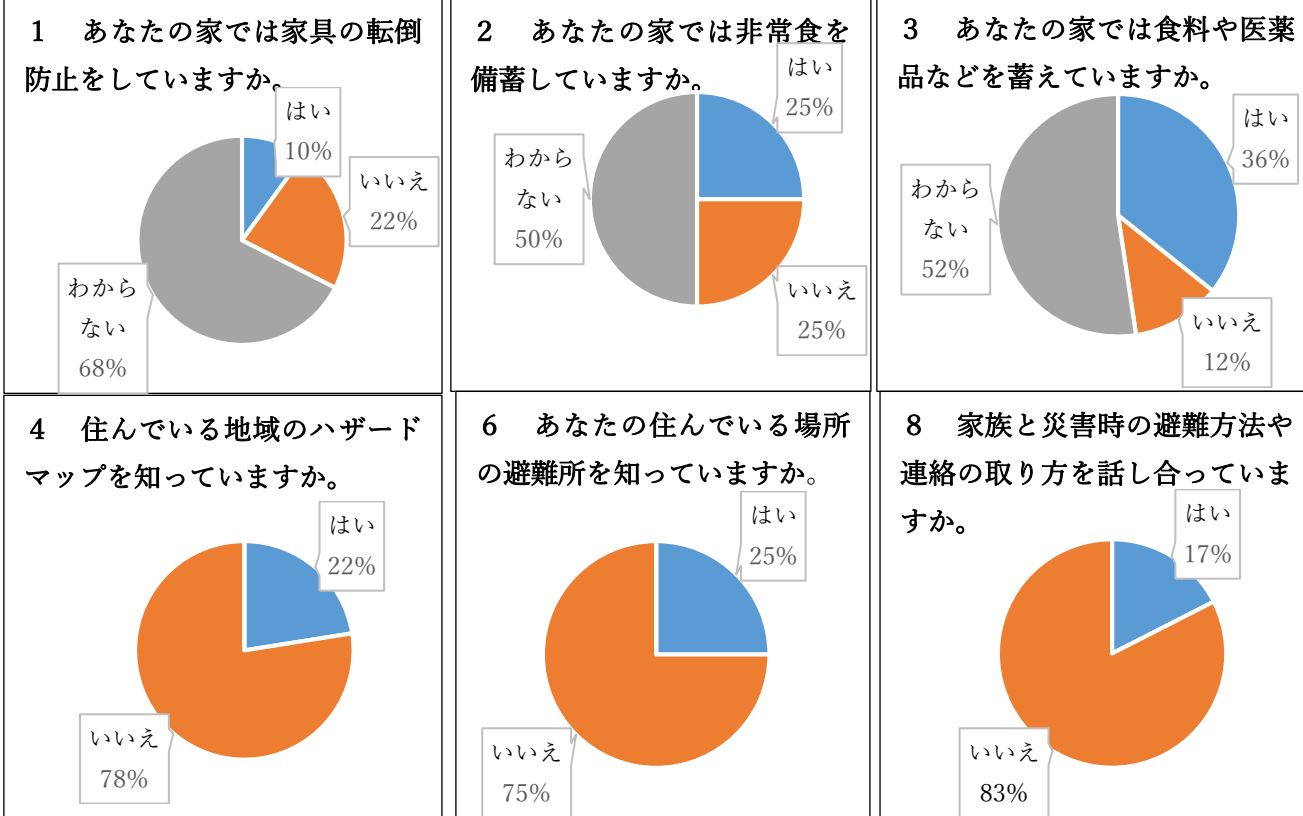


日付	行事内容	下校バス	日付	行事内容	下校バス
1日(水)	参観日 高校説明会 PTA 常任委員会・専門部会	16:00	22日(水)	期末考査 職員会議	13:00
8日(水)	2・3年生総復習プリント	16:00	23日(木)	期末考査	13:00
10日(金)	学校集金日	18:00	24日(金)	期末考査 2年生薬物乱用防止教室	18:00
15日(水)	専門委員会 テスト週間(～23日)	16:00			

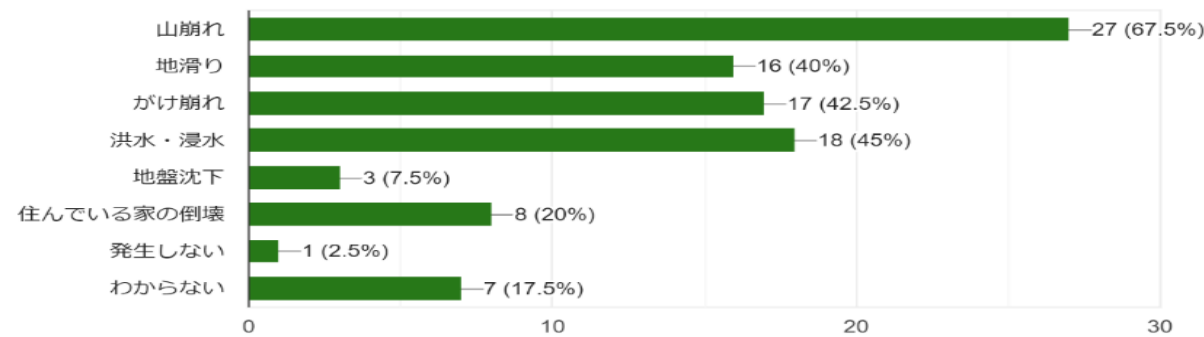
裏面へ続きます

自分の防災意識と備えについて振り返る 2年生防災学習アンケート

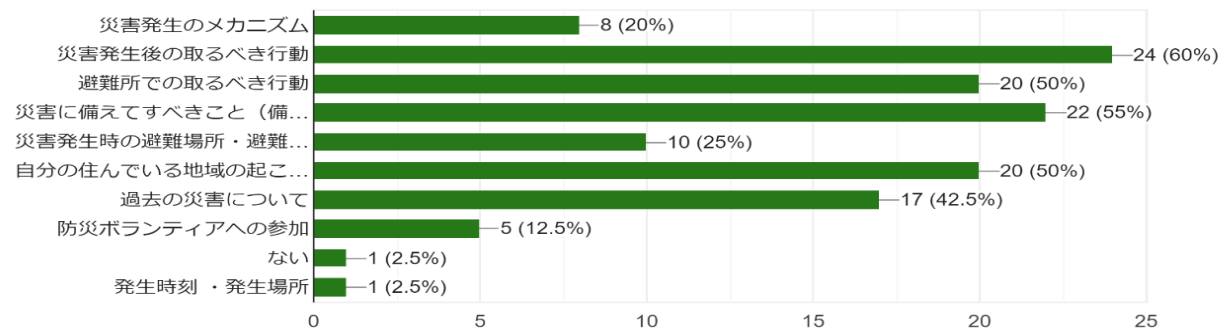
2年生は、総合的な学習の時間を利用して防災の学習に取り組みます。自分たちが住む地域に起こりえる災害について、過去の事例や地域の特性などを知り、家族や地域の人とともに防災について考え体験する活動を行います。学習に先立ち、2年生を対象に防災に関するアンケートを実施しましたのでその結果を紹介します。このアンケート結果をもとに、生徒と防災に対する課題を共有し、より実践的で自分に何ができるかを考える活動となる学習を目指して計画を作成しています。



5.あなたの住んでいる地域ではどんな災害が発生すると思いますか。（複数回答可）
40件の回答



10.学校での防災教育で学びたい内容はどのようなものですか。（複数回答可）
40件の回答



九州の旅で作ったたくさんの思い出、出会えた感謝 3年生 修学旅行

5月19日（木）～21日（土）、3年生は2泊3日で福岡・長崎を訪ねる修学旅行を行いました。コロナ禍により日帰りの修学旅行が続いた2年間。今年3年ぶりとなる2泊3日の修学旅行が実現しました。

1日目、新幹線のぞみで博多へ。太宰府天満宮で学問成就と合格の祈願をし、名物の梅が枝餅をいただきました。お守り売り場が、一時南中生徒で埋まりました。その後一路長崎へと向かい、原爆資料館・平和祈念公園を訪れました。原爆被害の事実を目にし、平和祈念像の前で平和集会を行いました。到着した夕刻のホテルで「被爆体験講話会」行い、当時14歳だった原爆被爆者の方から77年前の8月9日の爆心地での惨劇を語っていただきました。当時の光景、音、匂い、痛み、感情がまるで今起きているかのように言葉で再現され、生徒は1時間の講話にじっと聞き入りました。その後夕食。ホテルから見渡せる世界3大夜景といわれる長崎の夜景に感動しながら、お土産コーナーに長蛇の列を作りました。

2日目、曇り空の朝で迎えたこの日は長崎市内観光。出島、大浦天主堂、グラバー園など海外との交流拠点となった長崎の歴史と文化を知る1日でした。坂の街長崎に魅力を感じながらも疲労の様子も隠せません。午後、小雨の中、フェリーで向かった軍艦島では、密集する高層アパートや学校の廃墟を眺め、人が去り行く過疎化の問題として身近に感じた生徒もいました。夕方、佐世保に移動し、夜のハウステンボスへ。日暮れとともに美しさを増すイルミネーションの幻想的な世界を堪能しました。

3日目は快晴、27度の夏日。朝からハウステンボスへ。4時間30分、広い園内を友だちと一緒に巡りました。最後まで時を惜しむかのようにはいしゃいだ生徒は思い出と感謝の気持ちが詰まったお土産袋をいっぱい抱え、岡山へ向かう新幹線に乗りました。新見市内に着いた帰りのバス内で解散式を行いました。生徒代表が、コロナ禍で実現できた修学旅行の思い出と関わられたたくさんの方々への感謝を伝え、「みんな、この修学旅行でよかったかな?」と問いかけると、全員で、長崎のバスガイドさんから教わった「よか、よか!」の言葉で返事をして締めくくりました。

3年生のみんな、保護者の皆様本当にありがとうございました。

